

外国籍住民への支援のあり方を考える<第12回>

やさしい日本語とコミュニケーション～職場、行政窓口、子どもの生活の場から

埼玉県内には多くの外国籍住民が居住し「多文化共生社会の実現」が課題となっているなか、福祉、医療、教育の現場、そして日々の暮らしの中でも、言葉や文化等の違いに応じた適切な対応が求められています。今回の研修では「やさしい日本語とコミュニケーション～職場、行政窓口、子どもの生活の場で」をテーマとし、問題提起及び各々の課題に応じた事例検討チームの提示した事例を基に、グループワークを通じて課題への理解を深め、日常生活の場における支援のあり方について考えます。

1. 日 程 2019年1月26日(土) 午後1時30分～4時30分
※受付は1時10分からです。
2. 場 所 すこやかプラザ セミナーホール北側
JR 与野駅西口から徒歩10分
3. 受講対象者 国際協力・交流・外国人支援団体関係者、NPO関係者、自治体職員、
弁護士、行政書士、社会福祉士ほか福祉・医療従事者、一般県民の
方等
4. 参加費 1,000円(本会会員、学生、未成年者は500円)
5. 定 員 60名
6. 参加申込 裏面参照

<研修プログラム>

1:30～2:10	問題提起：井上くみ子氏 多文化子育ての会 Coconico 代表
2:10～4:30	グループ討議及び発表、まとめ 講評 井上くみ子氏 コーディネーター 当委員会委員長 門美由紀 チューター 多文化共生ソーシャルワーク委員会メンバー

*本研修は、日本社会福祉士会生涯研修制度の0.2単位となります。

井上くみ子氏プロフィール

地球っ子クラブ2000に親子でスタッフとして参加。1995年からカナダで海外生活を経験し、2003年から日本語教師としてモンゴルの小学校に勤める。現在は、やさしい日本語コミュニケーション講師として講演会等で講演。外国出身者にとって住みよい地域になるように、日本人に向けても活動している。

<事例作成グループ各代表>

- 職場 木口喜由江(本会会員、多文化共生SW委員会)
- 行政窓口 菊池真砂子(本会会員、多文化共生SW委員会)
- 子どもの生活 芳賀洋子(NPO地球っ子クラブ代表)

主催：公益社団法人埼玉県社会福祉士会
後援(予定)：公益財団法人埼玉県国際交流協会